

第16回フードビジネス研究会 (FABIO) のご案内

- 日時 平成31年1月9日(水) 18時30分～20時30分
- 会場 コロンブス・ハウス(ふるさと往来クラブ) 東方通信社ビル2階
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-14-4
(東京メトロ千代田線新御茶ノ水駅/都営新宿線小川町駅/丸の内線淡路町駅 出口B7(徒歩5分))
- 定員 15名(定員になり次第締め切ります)
- 申込 氏名、連絡先電話番号およびメールアドレスを記載の上、FAX(029-875-3402)にてお申し込みください。
- 参加費 5,000円(会員特典あります)
(講演後には、地方の旬の食材を用いたお料理とお酒をともにしながら講師を交え意見交換をする、2時間の楽しい実りある研究会です)
- 話題 アレロパシーの強い植物の探索と利用
ー世界と日本の未利用植物を新食糧資源にー
- 講師 藤井 義晴(東京農工大学大学院教授
国際環境農学専攻 国際生物生産資源学研究室)



これまでアレロパシーの強い植物遺伝資源を世界各地から探索して利用する研究を行ってきました。アレロパシーは、植物から放出される天然化学物質が、他の植物・微生物・昆虫・動物等に、阻害・促進、あるいは何らかの影響を及ぼす現象です。作用物質は主にアルカロイドやテルペン類などの二次代謝物質であり、植物の生き残り手段の一つと考えられています。アレロパシーは、農業生産の場では有機農業における病害虫雑草防除に、医薬・農薬産業界には新しい生理活性物質の発見に、生態系や環境面では、湖沼の有害藻類や外来生物の管理に、また都市における屋上緑化などにも応用可能です。

本話題提供では、見出したアレロパシーの強い植物に含まれる生理活性物質、および利用法について紹介します。また未来の食料となる未利用植物についても紹介します。

